





使用上の ご 注 意

●本システムを末永くご使用頂くために、適切な環境下でお使いください。

■周囲温度·周囲湿度

本装置の周囲環境は下記の範囲でご使用ください。

※ただし、結露しないこと_

項目	範囲
周囲温度	0∼40°C
周囲湿度	10 ~ 85%RH

■ 塵·埃·煙

本装置を塵や埃・煙の多い環境で使用しないでください。 本体内に塵・埃・煙が入り、故障や誤動作を起こすことがあります。 また、装置寿命が短くなります。

●吸排気口が塞がれると、本体内部が異常高温になり自己保護のため装置が自動停止することがあります。

●発煙する殺虫剤等も使用しないでください。

■ 直射日光·温湿度変化

直射日光が当たる場所に設置したり、エアコン・ストーブ等の熱が直接当たる場所に設置しないでください。 装置の故障、および寿命が短くなります。

■ ノイズ

●ノイズの影響

ノイズ発生源を近くに置かないでください。誤動作・故障の原因になります。 ノイズ発生源には複写機、空調機等が考えられます。

テレビやラジオ等に影響を与える場合がありますので、離してお使いください。

■ 携帯電話

本装置、およびディスプレイのすぐ近くで使用しないでください。 誤動作の原因になります。

■ 強磁界

強い磁界の近くで使用した場合、ディスプレイの表示が揺れたり、歪んだりします。

■ 静電気

静電気が発生しないようにしてください。誤動作の原因になります。

■ 振動

本装置は精密機器のため、強い振動や衝撃を与えると故障や誤動作の原因になります。

[●]ノイズの発生

1.	各部の名称とはたらき	1
2.	画面構成	2
3.	共通表示内容	4
4.	画面レイアウト	5
	 作動一覧画面 詳細一覧画面(火災画面の例) 経過画面 パスワード画面 管理者画面 「一. バージョン情報 2. 設定ファイル操作 2. 設定ファイル操作 2. 設定ファイル転送 2. 設定ファイル転送 3. 設定ファイル延転送 3. 通信モニタ 3. 通信モニタ 5-④. 時刻設定 5-⑤. 予備電源試験 5-⑥. タッチパネル補正 7. LCD画質確認 	5 6 7 9 9 10 10 11 11 12 13 13
5.	基本的動作の説明	14
6.	部品配置図	17
7.	試験方法	18
8.	部品などの交換方法	18

9. ディップスイッチ設定 19



1 液晶表示部	火災、ガス漏れ、その他警報の発生状況を表示します (警報信号が発生していなければ、10分後に自動消灯します)
2 電源灯	副表示機が動作していることを、緑色LEDの点灯で知らせます
3 音響	火災・ガス漏れなどの警報発生時にブザーで知らせます
(4) 電話ジャック	電話機のプラグを差し込み、受信機との通話に使用します

2. 画面構成

- ・表示画面の切り替えは、タッチパネル操作で簡単に行えます。
- ・作動一覧画面の「消灯」ボタンを押すと、画面を消灯します。
- ・無信号、無操作状態が10分以上継続すると、自動的に消灯します。 (警報発生中、または通信異常時は自動消灯を行いません)





3. 共通表示内容



- ①画面タイトル :現在表示中の画面タイトル(4文字)を表示します
- ②警報状態表示 : 警報発生時に「警報発生中」を点滅表示します。 (重要警報でない信号が発生した場合は表示しません)
- ③通信状態表示 : 受信機との通信が途絶えたときに「通信異常」を点滅表示します (正常時は表示しません)
- ③電話呼出表示 : RX600、RX1200、RX700、RX1400受信機(※1、2) から表示機呼出操作を行うと、「電話呼出」を点滅表示(※2)し、 10秒間ブザー鳴動します。
 ※1:RX300受信機は呼出操作ができません。
 ※2:双方向通信時のみ電話呼出表示が可能です。
 ※3:「電話呼出」を消すタイミングは、画面消灯時です。
- ③移報停止表示 :移報停止中は「移報停止」を点滅表示します 移報停止中は、新たに発生した火災情報などを表示しません。
- ④音停止状態表示:音響完全停止状態になると「音停止中」を点滅表示します。 ※ディップスイッチ設定(SW201の4)がONの場合は表示しません。
- ⑤時刻表示 :現在時刻を表示します。(毎日1回、受信機の時刻に自動設定されます)
- ⑥可変メニュー : 画面毎に随時必要な選択メニューを表示します
- ⑦音響停止 : タッチするとブザー鳴動を停止します。(※再鳴動方式) (3秒間長押しすると音響完全停止/完全停止解除を行います)

※音響停止操作後に再び警報が発生するとブザーが鳴ります。

4. 画面レイアウト

1. 作動一覧画面



- (7)経過ボタン:押すと経過画面を表示します。
- ⑧管理者ボタン:押すとパスワード入力画面を表示します。

2. 詳細一覧画面(火災画面の例)

※ガス、警報、トラブルの場合も火災画面と同じレイアウトで表示します



- ①発報時刻 : 警報発生時の時刻を表示します。(副表示機が警報を受信した時刻) 表示順序は、警報の発生時刻の古いものから順に表示します。
- ②最新報ボタン : 押すと最新ページを表示します。 上の例では、火災の5報目を表示します。
- ③前ページボタン:前ページが表示可能なときに、ボタンを表示します。 押すと1ページ前の情報を表示します。
- ④次ページボタン:次ページが表示可能なときに、ボタンを表示します。 押すと1ページ後ろの情報を表示します。

	経	過	警報発生中	14:30
1	14:	26	◆火災発報(連動報) 第二情報棟 005階002地区001	リフレッシュコーナー
	14:	26	◆注意表示 第二情報棟 005階001地区003	第一会議室
	14:	26	◆防排煙作動(防火戸) 第二情報棟 005階002	廊下
	14:	26	◆防排煙作動(シャッタ) 第二情報棟 005階002	廊下
	14:	27	◆注意表示 第二情報棟 005階001地区002	第一会議室
	14:	27	◆火災発報 第二情報棟 005階001地区002	第一会議室
	14:	29	◆注意表示 第二情報棟 005階001地区009	エレベーターホール
	14:	29	◆火災発報 第二情報棟 005階001地区009	エレベーターホール
	ŧ	どる	る 音響停止	

①経過表示 : 経過画面に最新の8件を時系列に表示します。(最新は最下行)※経過画面は、発報情報だけでなく、復旧情報も表示します。

<u>4. パスワード入力画面</u>

作動一覧画面にて、「管理者」ボタンを押すと、パスワード入力画面を表示します。

管理者	14:30
パスワードを入力し	てください
АВС	D E F
	確 定
● もどる 音響停止	
①パスワード入力:「A」、「D」、「確定」	を順に押すと、管理者画面を表示します

5. 管理者画面



①バージョン情報 : 副表示機のプログラムバージョン情報とアドレス情報を表示します。

- ②設定ファイル操作:設定ファイル操作の選択メニューを表示します。 設定ファイルの情報確認、転送、逆転送操作が可能です。
- ③通信モニタ : 通信モニタ画面を表示します。 通信正常時は、1分毎(最大3分以内)にウォッチドッグ(M160)を表示します。
- ④時刻設定 :時刻設定画面を表示します。
- ⑤電池試験 :予備電源試験画面を表示します。
- ⑥タッチパネル補正:タッチパネル補正画面を表示します。 タッチパネルの反応位置がズレている場合は補正してください。
- ⑦LCD画質確認::副表示機で使用可能な16色のカラーバー画面を表示します。

<u>5-①. バージョン情報</u>

5の①「バージョン情報」を押すと、副表示機のプログラムバージョンとアドレス情報を表示します。 アドレス情報は、ディップスイッチ設定された副表示機のアドレス情報の確認ができます。 (片方向通信時はアドレス情報を表示しません)

管理者	14:30
●バージョン情報	
PADI Ver1.58	
●アドレス情報	
アドレス01	
もどる 音響停止	

<u>5-②. 設定ファイル操作</u>

5の②「設定ファイル操作」を押すと、設定ファイル操作の選択メニューを表示します。

管理者	14:30
●設定ファイル操作	
① 設定ファイル情報 (本体)	
② ② (メモリカード⇒本体)	
③ 設定ファイル逆転送 (本体⇒メモリカード)	
もどる 音響停止	

<u>5-2-1. 設定ファイル情報</u>

・5-②の①「設定ファイル情報」を押すと、以下の設定ファイル情報画面を表示します。
 ・さらに、各設定ファイルのボタンを押すと、設定情報の詳細を表示します。



<u>5-2-2</u>.設定ファイル転送

- ・5-②の②「設定ファイル転送」を押すと、以下の設定ファイル転送画面を表示します。
 ※「設定ファイルが取得できませんでした」とエラーが表示された場合は、
 メモリカードが正しく挿入されているか確認して、電源を0FF-0Nしてください。
- ・転送内容に問題がなければ、「転送開始」を押すと、ファイル転送が実行されます。

管理者	14:30
●設定ファイル転送 以下の設定ファイルをメモリカードから副表示機本体に転送 メモリカード LcdType.csv 2018/07/25 21:58 TouName.ini 2018/07/25 21:58 TouDisp.ini 2010/09/09 00:00 Jyoutai.ini 2011/12/16 00:00 Kubun.ini 2010/09/09 00:00 LcdSys.ini 2012/09/20 00:00	きします。
もどる 音響停止	

5-2-3. 設定ファイル逆転送

- ・5-②の③「設定ファイル逆転送」を押すと、以下の設定ファイル逆転送画面を表示します。
 ※「設定ファイルが取得できませんでした」とエラーが表示された場合は、
 メモリカードが正しく挿入されているか確認して、電源をOFF-ONしてください。
- ・逆転送内容に問題がなければ、「逆転送開始」を押すと、ファイル逆転送が実行されます。 ※逆転送はCFカードの[UPLOAD]フォルダ内に設定ファイルを保存します。 パスワード「ADAD」で管理者画面に入った場合は、ルートに設定ファイル保存します。

管理者	14:30
 ●設定ファイル逆転送 以下の設定ファイルをメモリカードから副表示機本体に逆転送 副表示機本体 LcdType.csv 2018/07/25 21:58 TouDisp.ini 2010/09/09 00:00 Jyoutai.ini 2011/12/16 00:00 Kubun.ini 2010/09/09 00:00 LcdSys.ini 2012/09/20 00:00 	送します。
もどる 音響停止	

<u>5-③.通信モニタ</u>

・5の③「通信モニタ」を押すと、通信モニタ画面を表示します。 最新の24情報を表示します。

管理者	14:30
<pre><rd>01M160WATCHDOG R1</rd></pre>	
SED 01M160WATCHDOG R1	
SC ARD	
SD AKOT SRD 01M160WATCHDOG R1	
SD/AKUT SRD201M160WATCHDOG R1	
<pre>SDACT S</pre>	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2
もどる 音響停止 BCC	こエラー数:0

<u>5-④. 時刻設定</u>

- ・5の④「時刻設定」を押すと、以下の時刻設定画面を表示します。
- ・時刻設定を行うと、その副表示機の内部時計が変更されます。
 - ※1. 受信機や他の副表示機には反映されません。
 - ※2. 副表示機の電源をOFFしても半日~1日程度、時刻を保持します。
 - ※3. 副表示機側で時刻設定を行わなくても、毎日1回、受信機からの時刻設定通知により、 自動的に設定されます。



- <u>5-5. 予備電源試験</u>
- ・5の⑤「電池試験」を押すと、以下の予備電源試験画面を表示します。 開始を押すと予備電源試験を行い、10秒後に試験結果を「良」、「不良」で表示します。

管理者	14:30
●電池試験	
開始	
▲ もどる ▲ 音響停止	

5-⑥. タッチパネル補正

- ・5の⑥「タッチパネル補正」を押すと、以下のタッチパネル補正画面を表示します。
- ・円の中心を順にタッチして、最後に「完了」ボタンを押してください。
 (中央⇒左上⇒右上⇒左下⇒右下の計5回)
 ※タッチパネル補正値は、副表示機の電源をOFFしても保持されます。



<u>5-⑦. LCD画質確認</u>

- ・5の⑦「LCD画質確認」を押すと、副表示機で使用する16色のカラーバー画面を表示します。
- ・続けて画面をタッチしていくと、白画面、黒画面を表示し、管理者メニュー画面に戻ります。 (カラーバー画面⇒白画面⇒黒画面⇒管理者メニュー画面)

5. 基本的動作の説明

- 1. 電源投入時の動作
 - ・ブザーがピッ、ピッ、ピッと3度鳴動します。
 ブザー鳴動と同時に画面中央に「イニシャル処理中 しばらくお待ち下さい」と
 一瞬表示した後、画面を消灯します。
- 2. 正常監視時の動作
 - ・電源灯が点灯し、画面は消灯状態です。(画面をタッチすると、作動一覧画面を表示します)
 - ・3分以上経過してから、「通信異常」が表示されていないことを確認してください。
 (通信異常の検出に3分かかります)
- 火災が発生した場合(第1報目)

①作動一覧画面に火災の発生場所を表示し、「警報発生中」の代表表示を行います。
 ※1. 画面消灯状態の場合は、作動一覧画面を自動的に表示します。

※2. 警報発生中は画面を自動消灯しません。

火災 ◆火災発報 第二情報棟 005階001地区001 01/01 第一会議室	作動一覧	警報発生中	14:30
	火 災 01/01	◆火災発報 第二情報棟 第一会議室	005階001地区001

②ブザーが鳴動します。

- ③「音響停止」ボタンを押すとブザーが停止します。 ※押さない場合は、1分後に自動停止します。(自動停止なしの設定も可能)
- ④火災ボタンを押すと火災画面を表示します。 火災画面では、火災発生時刻が確認できます。

火災	警報発生中	14:30
14:25 01⁄01	◆火災発報 第二情報棟 第一会議室	005階001地区001

⑤「もどる」ボタンを押すと、作動一覧画面に戻ります。

- 4. 火災が発生した場合(第2報目)
 - ①第二報目の火災が発生しても、作動一覧画面の火災表示は、第一報目を保持します。(※1)
 火災ボタンの発報数は01/02になります。
 (火災が2報発生しており、1報目を表示していることを表します)

作動一覧 警報务	生中	14:30
火災 ◆火災 第二 01/02	^発 報 青報棟 (会議室	005階001地区001

※1:第一報表示設定の場合です。最新報表示設定時は2報目を表示します。
 ②ブザーが再び鳴動します。

- ③「音響停止」ボタンを押すとブザーが停止します。
- ④「最新報」ボタンを押すと最新の情報(2報目)を表示し、火災ボタンの発報数が 02/02になります。(※2)

作動一覧	警報発生中	14:30
火災	◆火災発報(選 第二情報棟	፤動報) 5階002地区001
○ Z / O Z ※2.第一報表	リノレッン-	∟ 」 ──) ── ──────────────────────────────

※2:第一報表示設定の場合です。最新報表示設定時は「第一報」ホタンを 表示し、「第一報」を押すと、第一報を表示します。

⑤「火災」ボタンを押すと、火災画面を表示します。 火災画面では、火災発生時刻と発生順序を時系列に確認できます。

火災	警報発生中 14:30
14:25 01⁄02	◆火災発報 第二情報棟 005階001地区001 第一会議室
14:26 02/02	◆火災発報(連動報) 第二情報棟 005階002地区001 リフレッシュコーナー

⑥「経過」ボタンを押すと、火災の発生状況が時系列に把握できます。

火災	警報発生中	14:30
14:25	 ◆火災発報 第二情報棟 005階001地区001 	第一会議室
14:25	◆注意表示 第二情報棟 005階002地区001	リフレッシュコーナー
14:26	◆火災発報 第二情報棟 005階002地区001	リフレッシュコーナー
14:26	 ◆火災発報(連動報) 第二情報棟 005階002地区001 	リフレッシュコーナー

- 5. 画面消去のしかた
 - 「消灯」ボタンを押すと発報の有無に関係なく画面を消灯します。
 (バックライトが消えて黒画面になります)
 - ・自動表示有り設定の警報信号(または通信異常)が発生していなければ、 無操作状態が10分間継続すると、消灯操作をしなくても自動消灯します。
 - ・画面消灯中に再び自動表示有り設定の警報信号が発生すると、
 作動一覧画面を自動的に表示します。
- 6. 音響完全停止のしかた
 - ●画面操作による方法
 - 「音響停止」ボタンを連続して3秒以上押し続けると、クリック音がピピッと2度鳴り、
 音響完全停止状態になります。
 完全停止中は、音響停止のボタンの文字が点滅し、画面上部に「音停止中」を表示します。
 - ・解除方法は、点滅している「音響停止」ボタンを連続して3秒以上押し続けます。
 ※音響完全停止状態は、電源をOFFしても解除されません。
 - ●音響完全停止スイッチによる方法
 - ・盤内の音響完全停止スイッチ(SW201のNo.4)をON側に倒し、副表示機の電源をOFF-ON すると、音響完全停止状態になります。 ※音響完全停止スイッチにより、完全停止にした場合は「音停止中」表示を行いません。
 - ・解除する場合は、音響完全停止スイッチをOFF側に倒して電源OFF-ONします。

(注意)音響完全停止機能はメンテナンス時のみに使用し、使用後は必ず停止解除してください。

7. 受信機テーブルダウンロード時の注意事項

●RX500、1000、600、1200、700、1400システムでの注意事項 ・テーブルダウンロード実行中は副表示機への通信が停止します。 よって『通信異常時ブザー鳴動』の設定になっている場合、一定時間経過後 ブザーが鳴動致しますので、テーブルダウンロード中は副表示機の音響を

完全停止にして頂くか、副表示機本体の電源をお切り頂くようお願い致します。 テーブルダウンロードが終了致しましたら、副表示機の音響を完全停止した場合は 完全停止を解除、副表示機本体の電源をお切り頂いた場合は電源を再投入して 頂くようお願い致します。

6. 部品配置図





- 1. 予備電源試験のしかた
 - ①「管理者」ボタンを押して、パスワード「A」、「D」、「確定」を押すと、 管理者画面に入ります。
 - ②「電池試験」ボタンを押すと、予備電源試験画面に入ります。
 - ③「開始」ボタンを押して、10秒後に「電池試験結果:良」と表示されると正常です。
 - ④「不良」が表示された場合は、1~2日間充電した後に再び予備電源試験を行ってください。
 (満充電完了は72時間です)
 充電後も「不良」であれば予備電源の寿命です。予備電源を交換してください。
 ※予備電源の寿命は約5年です。取り付け日から5年を目安に交換してください。
- 2. 絶縁抵抗、絶縁耐圧試験時の注意事項



8. 部品などの交換方法

1. ヒューズ交換について

①付属品のヒューズ抜き差し工具を使い、切れたヒューズを取り外します。

②ヒューズ抜き差し工具を使い、付属品のヒューズを取り付けます。

適用ヒューズ(F101):250V 3A

2. 予備電源交換について

①接続コネクタ両端をつまみながら抜き、予備電源を取り外します。

②新しい予備電源を極性を間違えないように接続コネクタを差し込み、 予備電源を本体内に収納します。

適用予備電源:予備電源 受信機用450mAh

- 3.液晶の寿命について
 - 液晶の寿命は約5万時間(25℃環境下での予測値)です。
 ただし、本商品は正常監視時は画面を消灯させていますので長寿命です。





使用しません。

●変更しないでください。必ず 「OFF」側で使用してください。



本書記載事項の無断転用を禁じます。 今後とも、本書を充実させていきます。 尚、本書は仕様変更等に伴い予期なく変更する場合がありますが、ご了承お願い致します。